

# 令和7年度 福岡市西区主任児童委員研修会の報告



～ 不登校当事者や保護者の支援 ～

令和7年4月9日（水）14時～15時30分 福岡市西市民センター3階、第2会議室で福岡市西区主任児童委員研修会が行われました。ぼちぼちの会会長木村が講師としてお話をさせていただきました。今回は不登校の実態と、何が不登校を難しいものになっているのかの課題を中心にお話しさせていただきました。特に、子どもと大人の見方や考え方の違いや、「困っている子ども」にどう対応したらよいかを具体例をあげてお話をさせていただきました。第一地区の増井会長や主任児童委員の前畑代表をはじめ、西区民生委員・児童委員協議会 主任児童委員会（キッズ♡サポーター会）の方々の参加をいただきました。今後ともよろしくお願いたします。

## 1 はじめに

最近の不登校の状況と傾向・・・新聞報道記事の見方

## 2 不登校ということ

誰にでも起こりうることであり特別な子どもに起こることではない

- ・不登校の何が問題か？・・・不登校は問題行動ではない
- ・何が・誰が不登校を難しいものになっているのか（本人の問題？）
- ・不登校は特別な子どもの行動ではない

## 3, 学校で困り感を持つ子どもに必要な対策は？

- ・今やるべきことは・必要なことは
- ・学校と保護者・家庭・地域との関係
  - 学校、病院、関係諸機関などとの関わり
  - 親子の関わり：わかっているようでわからない子どもの気持ち

## 4. 子どもを取り巻く環境

- ・大人の倫理観：よかれとおもったことでも子どもには
- ・大人と子どもの認識の違い
- ・どこに行っても大人のリーダーがいる。

## 5. 学校教育の意味

- ・最終的な目的は進路保障＝自立
- ・学びの多様化学校・支援教室（自分に応じた学びの場を考える）

6. おわりに・・・主任児童委員さんに望むこと

孤立させない 寄り添う姿勢 共感と理解 正しい情報